

5年 1 解説	整数の性質 (偶数と奇数、約数と倍数、素数)	____年 ____組 名前

ぐうすう きすう
偶数と奇数

偶数・・・2でわりきれ整数 1の位が0 2 4 6 8の整数のことです。
奇数・・・2でわりきれない整数 1の位が1 3 5 7 9の整数のことです。

例 2 3 5 6・・・1の位が6だから偶数
 4 2 5・・・1の位が5だから奇数

どんなに大きな数でも
 1の位だけみれば偶数か
 奇数か分かるね。

ばいすう やくすう
倍数と約数

倍数・・・ある数に整数をかけてできる数をその数の倍数といいます。
 例 3、6、9、12、15・・・すべて**3の倍数**です。

公倍数・・・2つの整数の共通な倍数を公倍数といいます。
 例 3 6 9 ⑫ 15 18 21 ⑳ 27・・・3の倍数
 4 8 ⑫ 16 20 ㉑ 28・・・4の倍数
 12や24は**3と4の公倍数**です。

最小公倍数・・・公倍数の中で最も小さい数のことです。
 3と4の公倍数の中で一番小さいのは・・・12ですね。
3と4の最小公倍数は12です。

3の段と4の段がはじめてそろうのは
 12だね。

約数・・・ある数をわりきれる数をその数の約数といいます。
 例 12の約数は 1 2 3 4 6 12 です。

公約数・・・2つの整数の共通な約数を公約数といいます。

最大公約数・・・公約数のうちで最も大きい数を最大公約数といいます。

例 12の約数 18の約数

そすう
素数

・・・1とその数自身しか約数のない数を素数といいます。
 2 3 5 7 11 13 17・・・素数の並び方にはきまりは見つかりません。

取り組んだ日 月 日

5年
1
(1)

整数の性質
(偶数と奇数、約数と倍数、素数)

___年 ___組
名前

1 次の数を偶数と奇数に分けましょう。

0 4 12 27 35 36

48 51 63 89 90 111

偶数

奇数

2 □に当てはまる数を書きましょう。

① $10 = 2 \times \square$

② $15 = 2 \times \square + 1$

③ $26 = 2 \times \square$

④ $31 = 2 \times \square + 1$

3 次の数は偶数ですか、奇数ですか。

① 0 ()

② 231965 ()

③ 49321832 ()

取り組んだ日 月 日

5年
1
(2)

整数の性質
(偶数と奇数、約数と倍数、素数)

___年 ___組
名前

1 次の数の倍数を小さい方から順に5つ求めましょう。

4の倍数

7の倍数

2 ① 4と6の公倍数を小さい方から3つ求めましょう。

② 4と6の最小公倍数を求めましょう。

3 () 中の数の公倍数を小さい順に3つ求めましょう。

① (6 9)

② (5 10)

③ (8 12)

4 () 中の数の最小公倍数を求めましょう。

① (2 3 4)

② (3 5 6)

③ (2 5 9)

取り組んだ日 月 日

5年
1
(3)

整数の性質
(偶数と奇数、約数と倍数、素数)

___年 ___組
名前

1 1 2の約数をすべて求めましょう。

2 次の数の約数をすべて求めましょう。

① 1 6

② 7

③ 1 1

※7と1 1のように、1とその数自身しか約数がない数を
() といいます。

3 () 中の数の公約数をすべて求めましょう。

① (1 2 1 8)

② (1 8 3 6)

4 () 中の数の最大公約数を求めましょう。

① (1 8 3 0)

② (3 6 6 0)

③ (8 1 6 2 0)

取り組んだ日 月 日

5年
1
(1)

整数の性質
(偶数と奇数、約数と倍数、素数)

___年 ___組
名前

1 次の数を偶数と奇数に分けましょう。

0 4 12 27 35 36

48 51 63 89 90 111

偶数

0 4 12 36 48 90

奇数

27 35 51 63 89 111

2 □に当てはまる数を書きましよう。

① $10 = 2 \times \boxed{5}$

② $15 = 2 \times \boxed{7} + 1$

③ $26 = 2 \times \boxed{13}$

④ $31 = 2 \times \boxed{15} + 1$

3 次の数は偶数ですか、奇数ですか。

① 0 (偶数)

② 231965 (奇数)

③ 49321832 (偶数)

取り組んだ日 月 日

5年
1
(2)

整数の性質
(偶数と奇数、約数と倍数、素数)

___年 ___組
名前

1 次の数の倍数を小さい方から順に5つ求めましょう。

4の倍数

4 8 12 16 20

7の倍数

7 14 21 28 35

2 ① 4と6の公倍数を小さい方から3つ求めましょう。

12 24 36

② 4と6の最小公倍数を求めましょう。

12

3 ()の中の数の公倍数を小さい順に3つ求めましょう。

① (6 9)

18 36 54

② (5 10)

10 20 30

③ (8 12)

24 48 72

4 ()の中の数の最小公倍数を求めましょう。

① (2 3 4)

12

② (3 5 6)

30

③ (2 5 9)

90

取り組んだ日 月 日

5年
1
(3)

整数の性質
(偶数と奇数、約数と倍数、素数)

___年 ___組
名前

1 12の約数をすべて求めましょう。

1 2 3 4 6 12

2 次の数の約数をすべて求めましょう。

① 16

1 2 4 8 16

② 7

1 7

③ 11

1 11

※7と11のように、1とその数自身しか約数がない数を
(素数)といいます。

3 ()の中の数の公約数をすべて求めましょう。

① (12 18)

1 2 3 6

② (18 36)

1 2 3 6 9 18

4 ()の中の数の最大公約数を求めましょう。

① (18 30)

6

② (36 60)

12

③ (8 16 20)

4